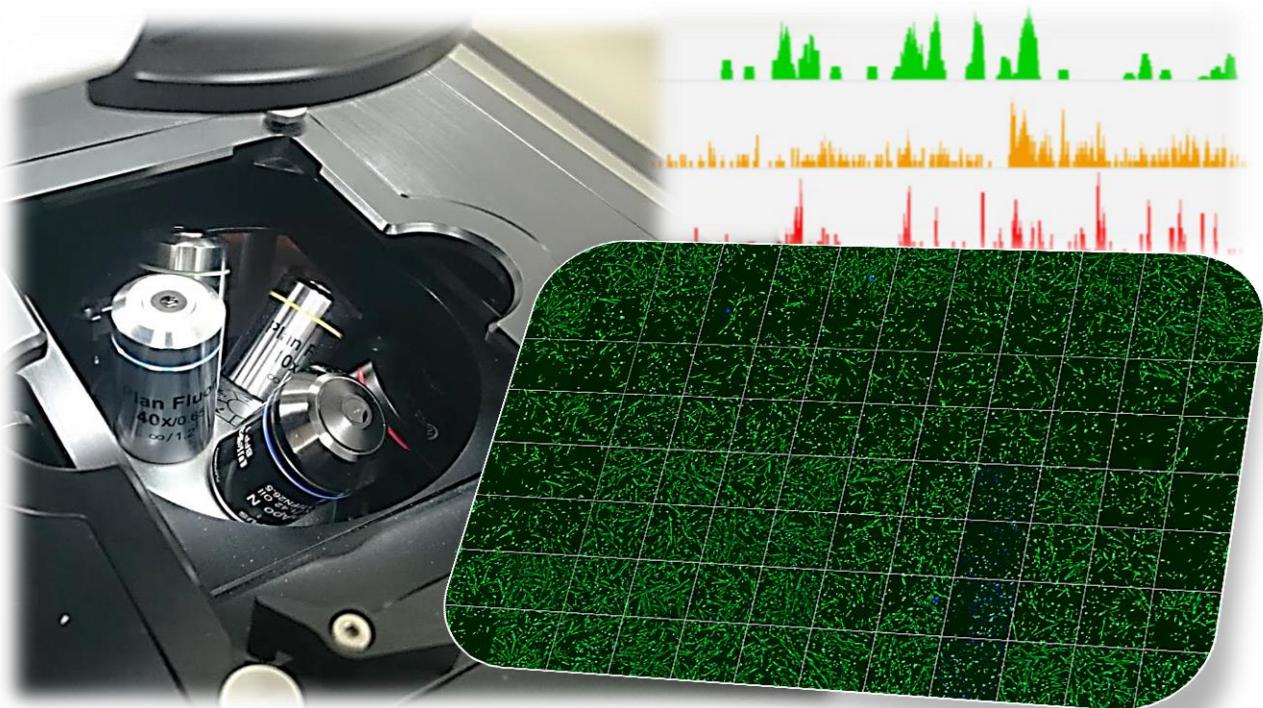


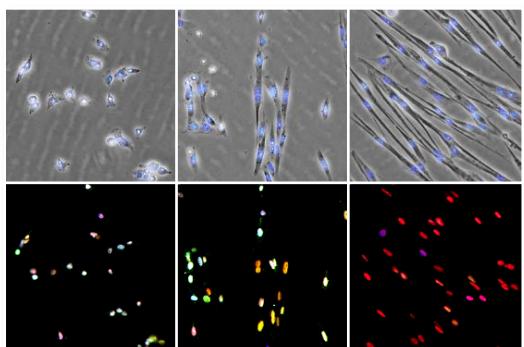
# 口コモティブシンドロームの予防と 健康長寿社会の実現を目指して

特別展示7



生命科学の成果を人々の健康に結び付ける

超高齢社会を迎えた日本では、寝たきり等の口コモティブシンドロームが大きな問題となっています。健康長寿社会の実現には、筋肉の機能を維持し、活動的な生活の基盤を保つことが非常に重要です。我々は、骨格筋の再生を担う幹細胞を対象として、その能力を活性化する分子を探索しています。日々の食生活で摂取可能な食品をはじめ、様々な農業資源に含まれる機能性分子を検討します。



高谷 智英

先鋭領域融合研究群 バイオメディカル研究所 代謝ゲノミクス部門 助教  
TEL: 0265-77-1426 Mail: ttakaya@shinshu-u.ac.jp